

タイトル	出会いおう！知ろう！つながろう！		
氏名	江川 歌奈子		
学校名	大阪市立長橋小学校		
担当教科	全教科		
実践教科	なかま(道徳)	時間数	5時間
対象生徒学年	第6学年	対象人数	47名

カリキュラム案

(1) 実践の目的

「ちがいに出会い、知ろうとすることから理解が始まり、つながりができる」ことを体験し、普段の生活の中に活かす。

- ①ちがいに出会い・・・ちがいに出会い、知りたい気持ちや疑問を持つ。
- ②知ることから理解が始まる・・・知ることのおもしろさを体験する。
- ③つながりができる・・・自分の生活を見つめなおして考える。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1限目 テーマ：タンザニアに出会い ねらい：タンザニアに出会い、タ... いてより深く知りたいとい う意欲を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・タンザニアの位置を紹介する。 ・タンザニアの人口や面積を紹介し、タンザニアが「貧困国」に入っていることを知らせる。 ・町や村、人々、子どもの様子から、気づいたり疑問をもったりする。 ・タンザニアに出会い、見つけたり気づいたりしたことをプリントに書き、タンザニアのことで一番知りたいことを書く。 ①トイレ”生活の様子# 水を運ぶ人々 ④子どもの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・パワーポイント
2限目 テーマ：タンザニアを知 る！パート1! ねらい：タンザニアの・ 食事・ものを通して異文 化に触れ、日本との違 いを知り、知ることのお もしろさを体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目の最後に書いた児童の「一番知りたいこと」から作ったタンザニアクイズして、知ることのおもしろさを味わう。 ・タンザニアのお金を知る。 ・タンザニアの食事の写真を見て、何を食べているのかを考える。 ・タンザニアBOXを通して、タンザニアのものに触れたりにおったりして五感を使い、何のために使われているのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・パワーポイント ・タンザニア BOX (キヤッサバボテト、ほうき、教科書、カンガ、うがりをまぜる棒) ・マコンデ彫刻 ・ティンガティンガ

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
3限目 テーマ：タンザニアを知 る！パート2! ねらい：タンザニアの抱 える問題を知り、日本と の違いを知るとともに、 タンザニアの子どもたち の生活の厳しさを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とタンザニアの平均寿命の違いから、タンザニアの人々が抱える3つの問題に触れ、タンザニアの子どもたちの生活の厳しさを知る。 ①マラリア ②水 ③孤児 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・パワーポイント ・水を入れたペットボトル (2リットル)
4限目 テーマ：タンザニアとつ ながろう! ねらい：タンザニアの子 どもの生き方を知り、自 分の生活を見つめなおす。	<ul style="list-style-type: none"> ・タンザニアの子どもたちの生活や学校の様子を紹介し、物が不足していることや学校に行きたくても行けない状況を知る。 ・タンザニアの子どもたちの写真を見て「すごいなあ!」「やるなあ!」「いいなあ!」と思うことを書く。(真剣に授業を受ける様子、サッカー、縄跳び、ダンス、歌、踊りなど遊んでいる様子、たくさんの笑顔など) ・自分が普段の生活の中で幸せに思う時を書き、タンザニアの子どもたちが幸せに思う時と比べ、自分の生活を見つめなおす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・パワーポイント
5限目 テーマ：江川歌奈子が 出会ったタンザニア ねらい：1人の人間として私がタンザニアに行って出会い、知り、考えたことを語る。	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身がタンザニアに出会い、知り、考えたことを聞き、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・パワーポイント

授業実践の詳細

1限目 タンザニアに出会いおう！

【授業の様子】

「みんなが通っている長橋小学校からタンザニアに行くよ！」と声をかけ、実際に長橋小学校からタンザニアの町に入っていくパワーポイントを見せてタンザニアという国についての興味をもたせた。タンザニアの人口や面積や有名なものを紹介した。タンザニアに初めて出会い、いろんなことを感じたり自分たちとのちがいに気づかせたりするために4枚の写真(トイレ、生活の様子、水を運ぶ人々、笑顔いっぱいの子どもたち)を見せ、「えっ！？何なんやろ？」とか「すごいなあ！」など思ったことを素直に出す機会とした。

【子どもの反応】

- ・長橋小学校からみんなと一緒にタンザニアの町の中に入ったように思える児童が多く、普段授業に集中できない児童も非常に熱心にパワーポイントを見ることができ、今後の学習に意欲をもつことができた。
- ・4枚の写真の中でも特にトイレの違いに気づく児童が多く、自分たちのトイレと比べることがしやすかったようである。また、子どもの様子を見て「みんな、めっちゃ笑ってるなあ！」「仲よさそう！」「元気やなあ！」など良さを見つけることもできていた。

2限目 タンザニアを知ろう！パート1！**【授業の様子】**

1限目の出会いでいろいろなことに気づいたり、「何なんやろ？」と疑問をもったりしたことが「知りたい！」につながっていくことであり、大事なことと伝えた後、1限目で児童が書いていた「一番知りたいこと」をもとにタンザニアクイズをパワーポイントで作り、4問行った。タンザニアBOXから出てきたものに五感を使って何のために使われているのかを考えることを通して知ろうとすることで理解が始まり、理解できるとおもしろいことを体験する機会とした。

【子どもの反応】

- ・クイズにも強く興味をもち、全員で楽しむことができた。
- ・タンザニアBOXから見てきた見たがないものでも、みんなで意見を言い合いながら考えようとしていた。
- ・実際にタンザニアのものに触れることができて、授業が終わってからもものに触れようとする児童が多く、非常に興味をもつことができた。

3限目 タンザニアを知ろう！パート2！**【授業の様子】**

日本とタンザニアの平均寿命を知らせ、「なぜ30歳ほどがうのか？」という疑問をもたせ、その理由を知っていく時間にした。タンザニアの人々が抱える課題として「マラリア」水#孤児について日本と比べながら紹介し、タンザニアの子どもたちが厳しい生活の中で生きていることを知る機会とした。

【子どもの反応】

- ・普段の生活の中で蚊にさされることで死にいたるかもしれないことに衝撃を受けていた。
- ・私が実際に使用したバケツの水やタンガゾ村での様子の写真を見て、非常に驚き、日本の生活の方がいいと思う児童がほとんどだった。
- ・孤児院の子どもの写真を見て、「めっちゃ笑ってる！すごいなあ！」というように笑顔で元気で仲が良いという印象をもった。

4限目 タンザニアとつながろう！**【授業の様子】**

学校や教室、運動場で遊ぶ子どもの写真を見ることで、自分たちの生活と比べて気づいたり、ちがいを見つけることをさせた。また、学校に行きたくても行けない状況の子どもがいたり、私がタンザニアで聞いた学

校のことを伝えたりすることでタンザニアの子どもたちの様子を身近に感じられるようにした。その後、ノートにひたすら字を書き真剣に授業を受けている写真や運動場で楽しく笑って遊ぶ様子などの写真を見せ、「すごいなあ！」と思うことを見つけさせた。そして、自分が思う幸せと、タンザニアの子どもが思う幸せとを知り、自分の生活を振り返る機会とした。

【子どもの反応】

- ・一つの教室に大勢の子どもが入り勉強していることや、1人で1つの机を使えないことなどに驚いていた。
- ・教科書を買わなければいけないため教科書を持っていない子どもがほとんどであることやサッカーボールなどの物がないため手作りの物が多いことなど、自分の生活と比べてちがいに気づいていた。
- ・タンザニアの子どもたちの元気よさと明るさ、笑顔、初めて会った先生に気さくな感じなどを「良さ」として見つける児童がほとんどだった。
- ・幸せを比べた時、「おれらが当たり前と思っていることを幸せと感じていることがすごいと思った。」「物がないのにみんな笑って楽しく生きていていいなと思った。」などの感想が書かれていた。

5限目 江川歌奈子が出会ったタンザニア！**【授業の様子】**

私自身がタンザニアに「出会い、知り、つながって」学んだことを伝える時間とした。私もタンザニアに対してもっていたイメージや思いがあったが、実際にタンザニアの生活を体験し、人々や子どもたちに出会い、関わり、知ることを通して、タンザニアの良さをたくさん見つけ、私自身学ぶことがたくさんあったことを伝えるとともに、「ちがいに出会い、知り、つながること」は、すぐ近くにいるちがいがある友だちに対してもできることで、今の自分の生活の中でもやっていけることだということを一番伝えたいこととして話をした。

【子どもの反応】

- ・私が写っている写真が初めて出てきたので、興味関心をもってパワーポイントを見て話をして話を聞いていた。

【児童の感想】

- ・タンザニアのことを知っても、貧しいことぐらい……と思っていたけど、知っていくことでイメージが変わった。
- ・はじめにもっていたタンザニアのイメージが変わった。
- ・全く知らなかったタンザニアという国のことを探ることができておもしろかった。
- ・タンザニアの人や子どもたちは、笑顔で元気があってすごいと思う。
- ・自分もいつも元気でいたいと思った。
- ・友だちを大事にしたいと思った。
- ・人を見た目や聞いただけで判断したらあかんと思った。
- ・見た目で決めない。中身を知ることが大切。

授業実践を通しての所感・反省点・今後の改善策

写真やパワーポイント、物を提示することで子どもたちに興味関心をもたせ、知りたい意欲をもち続けさせることに非常に効果があった。普段、集中して話を聞くことができない児童も、写真を見ていろいろなことをつぶやき、取り組むことができた。また、思ったことを素直に表現できる場面が多かったため、自然とお互いの思いや考えを聞きあうことができていた。この2点を知ることができたことは、私自身の大きなまなびであり、子どもたちが意欲的に取り組むための今後の教育実践に活かしていきたい。

反省点としては、「知ることのおもしろさ」は味わうことができたが、そこから自分たちに返して考える時間をあまりとることができていなかった。そのため、自分の生活に具体的にどう活かしていくことができるのか?というところまでは深めさせられなかった。この取り組みを通して私自身が学んだ「ちがいに出会い、知り、つながる」ことを体験し、今ある自分の生活(特にまわりの友だち)に活かしてほしいという思いを一番伝えたかったが子どもの反応や感想からは不十分であった思う。

どの授業の中でも、自分自身と比べたり、つきつめて考えたりするような時間をとることで、子どもにもっと迫ることができると思うし、考えることができたのではないかと考える。また、5限目の次に「自分のまわりにいるちがいがある友だちに対してどうかな?」というようなことを投げかける時間を作ることで、まわりの友だちとの関わりについて考えるきっかけを作ることができたかもしれない。

目の前にいる子どもたちの課題から私は何を伝えたいのか?そしてそのためにはどのような授業を組み立て、どのような教材を使えば伝わるのか?と考えることを今回経験し、それは私自身の大きなまなびになった。子どもたちの新たな一面を知ることもでき、この5時間は私にとって楽しく有意義な時間となった。この取り組みで終わらず、この取り組みを1つのステップとして、引き続き自分の生活やまわりの人との関わり方につなげられるような取り組みを考えしていくことが必要であると考える。

使用教材



5限目

①トイレ



②水を運ぶ人々



③炊事場



④子どもたち

